

令和5年第10回教育委員会定例会議事録

招集日時 令和5年10月24日（火曜日）午後1時30分開会／午後2時30分閉会

招集場所 かが交流プラザさくら202会議室

教育長 島谷千春

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、佐野明子、新滝有紀子

会議列席者 堀川事務局長、寺西政策官、平塚次長兼学校指導課長、小茂出教育庶務課長、上出生涯学習課長、
出淵中央図書館長、左古教育総合支援センター所長、北村スポーツ推進課長、前田文化振興課長、
山下教育庶務課リーダー

令和5年第10回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○島谷教育長 皆様にも事前にご連絡できなかつたんですけど、今NASAからジョージ・ゴロスペ上級研究員という方が来られていて、市全体の人材育成とか、教育関係のアドバイザーに今回就任していただくということになりまして、急遽だったんですけども、今日の午前中に小学校でSTEAMを推進校として先行実施してくれている勅使小、山中小、河南小の5、6年生が山中小学校に集まって、ジョージ研究員からいろいろ課題解決であったり、これだけ大事なとんだということプレゼンを受けて、質疑応答では子ども達もたくさん手を挙げて相当盛り上がったようです。そういうようなものをやりながら、STEAMプレゼンテーションをまた年末にやりますけれども、小学生も含めて、結構本格的にテクノロジーを使いながら課題解決の体験をしているというところで、非常に子ども達は良い経験をしているなと思いついておりましたけれども、そのような催し物があったということでお知らせいたします。

では本日は審議事項が1件、報告事項が5件となります。議案第42号、加賀市公立学校管理規則の一部を改正する規則について平塚次長お願いいたします。

議案第42号 加賀市公立学校管理規則の一部を改正する規則について

平塚次長 資料に基づき説明

○島谷教育長 学校の働き方改革の関係で、デジタルを活用したDXというところで、ひとつづついろんなところを今事務職員はじめ職員の意見を聞きながら進めていまして、そのひとつの事例で、ずっと出勤簿にハンコで押していたわけですけども、その辺りの負担を軽減していこうということで、今回規則改正のご提案をしたいということです。

この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 従前の第2項については「出勤簿は、校長が指名する者が整理保管するものとする。」ときちんと定められているんですね。それが新しいものについては「教育長が別に定める。」となっております、この辺についてどういうふうな扱いになるのかご説明いただきたいと思つています。

○島谷教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 現在この出勤簿については、主に各学校の事務職員が整理保管等の責任者を努めているんですけども、この C4th、デジタルでの出退勤管理システムについては、主に教頭がその管理責任者となると思います。文書管理規定によりましてその保存期間を別に定めると。現在 3 年間となっておりますが、そのようなかたちでデジタル上でも保存をしていくということになります。

○山下委員 であれば、その辺どこかで明記されるべきものかなと。これだと出勤簿の管理が曖昧になってしまうと思います。もしデータ上になにかあった場合の責務等については、非常に曖昧なものになるのではないかなということ少し危惧はしておりまして、実際は問題はないと思いますが、その辺なにか記載された方がよかったのかなという、これは意見でございます。

○平塚次長 そちらに関しては、加賀市公立学校の文書管理規定というものに規定をしておりますので、そのようにご理解をいただければと思います。

○山下委員 ありがとうございます。

○島谷教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 紙のベースがなくなるということなので、職員の朝の出勤とか、退勤はどのようなかたちになるのか簡単に教えてください。

○島谷教育長 平塚次長、お願いします。

○平塚次長 自分のパソコンで打刻をするということになります。パソコンを立ち上げて出勤時間を打刻し、帰るときにはパソコンを閉めるときに退勤時間を打刻して帰ると。それを毎日忘れずにきちんとしていくということになります。

○篠原委員 それがタイムカードみたいなものと理解したらいいですね。

○平塚次長 そうです。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは議案第 42 号、加賀市公立学校管理規則の一部を改正する規則について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○島谷教育長 全会一致で可決といたします。以上で審議事項は終わります。続いて報告事項に入ります。報告第 37 号、任期満了に伴う教育委員会委員の任命について小茂出課長お願いいたします。

報告第 37 号 任期満了に伴う教育委員会委員の任命について

小茂出課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 では篠原委員一言ございますか。

○篠原委員 また今後 4 年間務めさせていただくことになりました。力及ばずではございますけれども、教育長を助けながら、また加賀市の教育運営に携わっていきたいと思っておりますので、皆さんまたご協力をお願いいたします。

○島谷教育長 ありがとうございます。よろしくをお願いいたします。

○山下委員 これは5年から8年で誤植はないですか。

○小茂出課長 申し訳ありません。9年で訂正をお願いいたします。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第38号、リーディングDX事業 生成AIパイロット校について寺西政策官
お願いいたします。

報告第38号 リーディングDX事業 生成AIパイロット校について

寺西政策官 資料に基づき説明

○島谷教育長 後ろの方に資料で全国の採択校の一覧を載せておりますが、北陸では唯一ですね。採択をされたということの報告でした。馴染みのない言葉もいろいろ資料上出てくると思いますが、素朴なご質問でも結構ですので、この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○山下委員 これは報告事項でありますし、これからモデル校的な感じで進めていくと思いますが、こちらは教育長と寺西政策官が文科省にいらっしゃったということで、いわゆるこの生成AIを使おうとするような立ち上げとか、今現在は対話型のAIで十分事足りていると思うんですが、それを生成AIとして丸投げするかたちになにかメリッ的なものが。文科省のホームページを見させていただいたんですが、まだまだ不透明な部分があるので、対話型AIと今新しい生成AIという部分で、どういうメリットがあるのかなというのを少しお示しいただきたいです。

○島谷教育長 寺西政策官、お願いします。

○寺西政策官 まずメリットといいますか、生成AIを13歳から普段使いになっている現状を、正しく使わせていきたいというのがまず一番最初にあります。そうでないとやはり間違っ使ってしまうので、メリットよりも正しく使うための授業展開を。対話型と生成というところに対しての、今ご質問の意向の解釈が間違っていたら申し訳ないんですけども、例えば検索エンジンと生成AIはどう違うかという話だと自分は理解しております。生成AIの方は質問した場合に、過去の、図書館みたいに百科事典がいっぱい並んでいるところから、勝手にAIが回答を作ってくれるものが生成AIだと理解しております。これはよく一番最初に課題解決するとき、課題は何かというときに、ものすごくふわっとした課題だったらふわっとした回答しか出ませんけれども、それを生成AIに打ち込むことでふわっとしたような課題をどんどん煮詰めることができ、百科事典の中から課題を探していくとさらに課題が見つかって、その状態を壁打ちすることによって、一番最初に百科事典では調べられないものを自分たちで調べていこうという、一番最初の問いを深める段階ではものすごく生成AIというものは有効だと思っております。実際に今高等学校では総合的な探究の時間でそのような使われ方をしている私立学校も複数出てきているのは事実です。それは加賀市が目指すSTEAM教育において非常に有効に役立つというふうに思っております。

○山下委員 総合判断力のベースをまずAIの方で出していただいて、それを知っていくというかたちで考えてよろしいですか。

○寺西政策官 はい。

- 山下委員　もちろんこれから研究段階があるでしょうけれども、総合判断力はそれぞれの経験でやはりなるべく養っていただきたいなと私も思っておりますし、出たものを鵜呑みに、それこそ従前の詰め込み学習のかたちではないようなかたちでできるように研究をいただければという意見でございます。
- 島谷教育長　他、ございませんか。
- 篠原委員　今回はモデル校として山中中学校をという話でした。この生成 AI は子ども達にとっては避けて通ることができないような大きな課題だと思っておりますので、今後加賀市の中にどうかたちで他の学校に普及させていくのか、計画がありましたら教えていただきたいと思えます。
- 島谷教育長　寺西政策官、お願いします。
- 寺西政策官　まずは中学校 1 年生において授業展開を実証することで、ここで適切な指導案であるとか、子ども達がどのように理解して、理解できているところとできていないところがわかるかと思えます。現在の計画ではありますが、全体で 6 時間の授業を実施し、最後には生成 AI が作ったテストも実施しようと思っております。そのテストにおいてどこを理解してどこを理解していないということが見える化され、その見える化されたことによって、中学校 1 年生段階でどういうことをやればいいのかがあったあとに、じゃあ中学校 2 年生においては、実際の STEAM の授業の中で生成 AI を適切に用いる、その適切性が中学校 1 年生の段階でしっかりした指導案ができていくというところで、各学校に配ることで、2 年生からの STEAM 活動で実践しながら正しさを身に付けていくということもできるかと思っております。
- 篠原委員　今後、加賀市の他の中学校にぜひ広めていっていただきたいし、今後はこれをうまく活用して、またどうやってこれを道具として活用していくかというのが大きな課題になっていくと思えますので、先生方も全然わからないと思えますし、先生方が不安にならないような実践の試行事例を加賀市全体の中に広めていってほしいと思えます。今、使おうとしているソフトというのはチャット GPT といわれているものを導入するわけですか。
- 寺西政策官　はい。13 歳以上になりますので、中学校 1 年生の段階で使える人と使えない人が混在しているかたちになります。現状のアイデアとしては生徒が使うのではなくて、生徒がエクセルやワードに質問をまとめたものを先生が代行して入力する、これであれば規約にもとづいて施行が可能であるというふうに考えております。
- 篠原委員　ぜひこれが広まって、加賀市の子ども達に違和感やとまどいがないようなかたちで進めていっていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。
- 寺西政策官　蛇足になりますけれども、まさに加賀市の中で運転免許講習所を作るようなイメージでいます。今は運転免許を講習する先生がいないという状況ですので、その先生を今回安全なところで育成していこうと、しかも有識者も外からついでいただけますので、ぜひこの 100 万円を有効に活用したいと思っております。
- 篠原委員　山中中学校の先生方はそういうかたちで直接指導を受けるわけですね。他の中学校は受けていないわけなので、それは今後研究所だとか、そういうようなところで講習会を継続的にやっていくということで理解してよろしいでしょうか。
- 寺西政策官　どちらの担当かわかりませんが、もちろんここで実証されたことに関しては、先生の知見を他に広めるために、例えば今回実証授業を担当した先生に講師になってい

ただいて、他の GIGA 担当者に広げていくということは十分に考えられることですし、積極的にやっていきたいことだと思っています。

○島谷教育長 他、ございませんか。

○佐野委員 山中中学校でだいたい何年間実証されるんですか。

○島谷教育長 寺西政策官、お願いします。

○寺西政策官 実証事業に関しましては来年の 3 月までです。基本的には採択されたのが 9 月 29 日、年度末までというのがだいたい国の実証事業の普通になっておりますので、今回はだいたい 3 月の頭までで考えています。実際の授業をやるのは 1 月に 2 時間の授業を 3 回、計 6 時間を今のところ想定をしております。日程確保はすでにしております。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

本件はリーディング DX スクール事業という橋立小中学校がすでに別の事業で採択されているもので、両プログラムで採択されている自治体は本当にまれだと思います。橋立の方は授業でクラウド活用をしながらということで、今頑張って公開に向けて授業の方で取り組んでもらっていますけれども、今回は生成 AI というちょっとテーマ性が違うものでやっていくというものです。私個人の考え方としても、生成 AI は必ず子どもが自力でたどりつく世界ですので、その前に正しくちゃんと使えるということ、そもそもどういう仕組みでこの生成 AI が動いているのかとか、理解できるとどういふふうに使っていくのかということが、機械に支配されずにちゃんと自分たちが主体的にコントロールしていける立場になるので、やはりこういうものは最初が肝心だなと思っています。この辺り山中中学校でまずは実証してみて、加賀市内の展開ということを考えていきたいと思っております。

では次にまいります。報告第 39 号、令和 5 年度加賀市グッドマナーキャンペーン実施報告について上出課長お願いいたします。

報告第 39 号 令和 5 年度加賀市グッドマナーキャンペーン実施報告について

上出課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。

コミュニティスクールで、山代中学校はコミュニティスクール委員が毎日校門に立って挨拶をしているという、グッドマナーというかそういうような動きもあるような状況です。

続きまして報告第 40 号、令和 5 年度市民文化講演会の開催について上出課長お願いいたします。

報告第 40 号 令和 5 年度市民文化講演会の開催について

上出課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 これはコロナになってからは開催できませんでしたけど、以前は平日の夜にやっていたのではないかと思います。その方が一般市民の皆さんも集まりやすいというか、今回見るとお昼ですよ。ちょうど大聖寺地区からすると百万石文化祭の 2 日目の行事が入ってきて

いる日なんです。行きたいと思ったんですが、残念ながら行けないんですけれども。そういうようなことも踏まえて、講師さんのご都合があったんだろうと推測されますけれども、土日はどうしてもいろんな行事が重なりますので、今後、日程等を考えていただければ有難いと思っております。よろしく願いいたします。これは意見です。

○島谷教育長 他、ございませんか。

○山下委員 藤原先生につきまして、「国家の品格」で有名になられたと思うんですが、市民文化講演会がありますという周知はどの辺りまでするんでしょうか。カモナホールになりましたのでスペースはあると思うんですが、あまり広くすると大変な数になってくると私は思っているんですが、その辺いかがでしょうか。

○島谷教育長 上出課長、お願いします。

○上出課長 文化会館のカモナホールにつきましては、確か 1,400 名入れるかたちでございませす。最近ポスター、チラシが出来上がってきたところとございまして、これから市内各所ですとか、あともう少し広げて金沢ですとか福井の手前あたりまで、図書館、商業施設の方にポスター、チラシを配布したいと思っております。ぜひたくさん入っていただければいいと思うんですけれども、ちょっと心配しているのは、たくさん入っていただけるのかどうかというところがあるんですが、委員さんのご質問としては入り過ぎるのではないかという。

○山下委員 入場無料でございますので、この先生の話を知りたいという方はおそらく多くいらっしゃると思いますので、その辺多くなり過ぎた場合も考えて、これは予約を申込みにするのは大変だと思うんですが、なにか対策を検討いただきたいと思います。

○篠原委員 有料でも行きたいと思ったので。

○上出課長 少し考えたいと思います。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

続きまして報告第 41 号、「千人謡」の実施報告について前田課長お願いいたします。

報告第 4 1 号 「千人謡」の実施報告について

前田課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。

○篠原委員 大変子ども達が頑張っていて、1,000 人くらいの子も達が声を合わせて羽衣を謳っていたのが大変印象に残りました。先ほどのアンケートの結果にもありましたけれども、大聖寺はお松囃子という伝統があります。江戸時代が終わって明治のはじめから日本で唯一継続している活動なので、その伝統をぜひ加賀市の皆さんにも広げて、子ども達にも広げていただければこういう試みは大変嬉しいと思っておりますので、ワークショップとかそういうものを子ども達に体験させる機会を今後も作っていただければ大変有難いなと思っております。よろしくお願いいたします。

○島谷教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

報告事項は以上になります。それではその他案件について小茂出課長お願いいたします。

○小茂出課長 その他案件は全部で 4 件あります。私の方からは 2 件説明させていただき、あとの 2 件につきましては、このあと非公開で説明させていただきたいと思っております。では本日送

付しましたその他資料をお開きください。

石川縣市町教委連研究大会について
加南地区教育委員会連絡協議会研究大会について
小茂出課長 資料に基づき説明

○島谷教育長 この件について何かご意見、ご質問ございませんか。よろしいですか。
では次回教育委員会定例会日程について小茂出課長お願いいたします。

- 次回教育委員会定例会日程について
小茂出課長 説明

○島谷教育長 それでは11月20日月曜日、10時から場所は市民会館第2会議室ということで
予定に入れておいてください。
それでは公開で予定されておりました案件につきましては以上になります。
御苦勞様でした。